

調査名 時短アンケート, 2020

寄託者(寄託時) 日本建設産業職員労働組合協議会

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

2020年時短アンケート設問

設問 1

非公開

設問 2 個人属性

- (1) 性別 ①男性 ②女性
 (2) 年齢 年齢を記入してください
 (3) 結婚の有無 ①未婚 ②既婚
 (4) 単身赴任の有無(既婚者)
 ①単身赴任している ②単身赴任していない

設問 3 勤務地の所在地

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 1 北海道 | 2 青森 | 3 岩手 | 4 秋田 | 5 山形 | 6 宮城 |
| 7 福島 | 8 群馬 | 9 栃木 | 10 茨城 | 11 東京 | 12 神奈川 |
| 13 千葉 | 14 埼玉 | 15 愛知 | 16 三重 | 17 岐阜 | 18 静岡 |
| 19 長野 | 20 山梨 | 21 新潟 | 22 富山 | 23 石川 | 24 福井 |
| 25 大阪 | 26 兵庫 | 27 京都 | 28 奈良 | 29 滋賀 | 30 和歌山 |
| 31 岡山 | 32 広島 | 33 山口 | 34 島根 | 35 鳥取 | 36 香川 |
| 37 愛媛 | 38 徳島 | 39 高知 | 40 福岡 | 41 佐賀 | 42 熊本 |
| 43 長崎 | 44 大分 | 45 宮崎 | 46 鹿児島 | 47 沖縄 | 48 海外 |
- (国名を記入してください)

設問 4 職種

- | | |
|-------------------|-------------|
| ①内勤建築系技術職 | ②内勤土木系技術職 |
| ③外勤建築系技術職 | ④外勤土木系技術職 |
| ⑤技術研究職 | ⑥内勤事務職 |
| ⑦外勤事務職(出張所、作業所勤務) | ⑧営業職(開発も含む) |
| ⑨内勤その他 | ⑩外勤その他 |

(職種で、①②と答えた方にお聞きします)

内勤技術系としての職種の細目(主な業務を1つ選択してください)

- | | | |
|-------------------|---------|--------|
| ①設計 | ②見積・積算 | ③設備 |
| ④技術提案 | ⑤現場技術支援 | ⑥工務等管理 |
| ⑦その他(内容を記入してください) | | |

設問 5 職務(役職)

- ①部課長、営業所長・出張所長・作業所長(いずれも部課長待遇を含む)クラス
 ②係長、作業所副所長、主任等の次席クラス
 ③課員、係員等、特に役職のない方(現在OAオペレーター等をされている場合でも、資格上総合職・一般職に区分されている方を含みます)
 ④オペレーター等技能職の方
 ⑤その他

設問 6 時間外手当

- ①支給対象者 ②支給非対象者

設問7 あなたの土曜日・日曜日・祝日の休日取得状況
(あてはまるものを①～④から選び、日ごとに答えてください)

- ①当日休んだ
- ②当日出勤したが、振休・代休を取得した
- ③当日出勤したが、振休・代休を取得していない
- ④制度上休みではない

- | | | |
|-----|--------------------|-------------------|
| 11月 | (a)11月 1日 (第1日曜日) | (b)11月 3日 (文化の日) |
| | (c)11月 7日 (第1土曜日) | (d)11月 8日 (第2日曜日) |
| | (e)11月14日 (第2土曜日) | (f)11月15日 (第3日曜日) |
| | (g)11月21日 (第3土曜日) | (h)11月22日 (第4日曜日) |
| | (i)11月23日 (勤労感謝の日) | (j)11月28日 (第4土曜日) |
| | (k)11月29日 (第5日曜日) | |

設問8 2019年12月～2020年11月の年次有給休暇取得日数は何日でしたか

会社からの計画年休の日も含んでください
取得日数(0日の場合は0)を記入してください

設問9 11月1ヶ月間の実際の残業(所定外労働)時間についてお答えください

(a)(b)とも0時間の場合は0を、1時間未満は四捨五入して、時間単位で記入してください
(時間外手当の手当支給非対象者も記入してください)

(a) 11月の実際の残業時間

(休日出勤し、振休・代休を取得できなかった場合はその日の勤務時間を算入してください)

(b) そのうち11月の平日の残業時間

設問10

非公開

設問11 あなたが残業した主な理由を3つ選んでください

- ①日常の発注者むけ書類等の業務が多い
- ②本来、発注者側で行うべき資料作成等の業務が多い
- ③社内書類等の事務処理業務が多い
- ④緊急な仕事が多い
- ⑤(①～④以外の)仕事が多く時間内に処理できない
- ⑥残業手当をあてにした生活設計になっている
- ⑦仕事の性格上、早出・残業する必要がある
- ⑧工程が厳しい
- ⑨職務を十分果たしたい
- ⑩外注業者・協力業者に管理能力がない
- ⑪周囲が残業しているので帰りづらい
- ⑫配置の人員が少ない
- ⑬総合評価方式による業務(技術支援等)が増えた
- ⑭その他(内容を記入してください)

設問12 あなたが行っている残業時間について、どのように感じていますか、主なものを2つ選んでください

- ①どのような理由があっても、早急な改善が必要
- ②自己の能力不足、または自己の能力の向上のため、納得している
- ③建設業の社会的使命や、与えられた仕事に責任を感じているため納得している
- ④建設業の社会的使命や、与えられた仕事に責任を感じているが苦痛である
- ⑤生活を犠牲にしているため苦痛である
- ⑥生活を犠牲にしているが、対価(残業手当)等もあり、納得している
- ⑦自己評価を上げるため仕方がない
- ⑧その他(内容を記入して下さい)

設問 1 3 会社からの残業時間削減指示で、あなたの仕事や生活に良い影響がありましたか、特に影響を感じたもの1つと、その他2つ以内で選んでください

- ①早く帰るよう意識するようになった
- ②今までの仕事内容や進め方を工夫するようになった
- ③会社内(部署、作業所)で仕事が共有できるようになった
- ④付き合い残業をしなくなった
- ⑤家族や友人とコミュニケーションが多く取れるようになった
- ⑥育児・介護、家事の時間ができた
- ⑦資格を取得するための時間ができた
- ⑧睡眠が多く取れるようになった
- ⑨以前より疲れにくくなった
- ⑩もともと残業は少ないので特でない
- ⑪残業は少なくなったが特でない
- ⑫時短に向けた動きはない(会社からの残業時間削減の指示はない)
- ⑬その他 (内容を記入して下さい)

設問 1 4 会社からの残業時間削減指示で、あなたの仕事や生活に支障がありましたか、特に支障を感じたもの1つと、その他2つ以内で選んでください

- ①残業手当等、賃金が減少して生活に余裕がなくなった
- ②会社や上司からの仕事の状況を考慮しない時短の指示がある
- ③勤務時間を申告するうえでの自主規制の圧力がある
- ④自分の技術力が低下するのではないかと危惧している
- ⑤部下や若手を早く帰らせるために自分が残業している
- ⑥夜に残業をしないために、朝早く来ている
- ⑦品質や安全がおろそかになった気がする
- ⑧仕事は終わらないので、サービス残業をしている
- ⑨持ち帰り残業をしている
- ⑩時短の強要で精神的にまいっている
- ⑪もともと残業は少ないので特でない
- ⑫残業は少なくなったが特でない
- ⑬時短に向けた動きはない(会社からの残業時間削減の指示はない)
- ⑭その他(内容を記入して下さい)

設問 1 5 平日に休暇・休日(年次有給休暇、振替休日、代休、その他休み)を取得することについて、ためらいを感じますか

- ①感じる
- ②やや感じる
- ③あまり感じない
- ④まったく感じない

設問 1 6 (設問15で①②と答えた方にお聞きします) どのような点でためらいを感じますか、主なものを2つ選んでください

- ①みんなに迷惑がかかるから
- ②後で多忙になるのがいや
- ③職場の雰囲気取得しづらい
- ④休んでも仕事が気になるから(電話がかかってくる等)
- ⑤上司がいい顔をしない
- ⑥昇格や査定に悪影響があると思うから
- ⑦その他 (内容を記入してください)

設問 17 (全員にお聞きします) 平日に休暇・休日を取得するうえで必要なことは何ですか、主なものを2つ選んでください

- ① 休日を取りやすい職場の雰囲気
- ② 自分の積極性
- ③ 上司などからの休日取得への働きかけ
- ④ 仕事内容、進め方の見直し
- ⑤ 休日取得のための目標設定 (取得率、取得日数等)
- ⑥ 職場の人員の増加
- ⑦ 年次有給休暇の計画付与や時季指定の徹底
- ⑧ 半日有給休暇制度の導入、拡充
- ⑨ その他 (内容を記入してください)

設問 18 建設産業全体で労働時間を短縮するためにはどうしたらよいか、主なものを3つ選んでください

- ① 経営者の意識改革
- ② 協力会社の育成・労務確保
- ③ 産業の社会的地位の向上
- ④ 建設産業に働く者の意識改革
- ⑤ 行政及び労使一体となった取り組み
- ⑥ 行政官庁の強力な指導
- ⑦ 発注者による適正工期の設定
- ⑧ 発注時期・しゅん功時期の平準化
- ⑨ 発注者・設計者の技術力の向上
- ⑩ 請負体質の改善
- ⑪ 受注競争の適正化による採算性の向上
- ⑫ 技能労働者の処遇改善
- ⑬ 法律等による社会的規制
- ⑭ 契約内容の明確化
- ⑮ その他 (内容を記入して下さい)

設問 19 以下の期間で、あなたが週あたりに在宅勤務(テレワーク)を実施した頻度をお答えください

(a) 緊急事態宣言時(2020年4/16~5/14)

(b) 2020年11月

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 全て在宅勤務だった | ② 1週間のうち3~4日程度在宅勤務 |
| ③ 1週間のうち1~2日程度在宅勤務 | ④ すべて出勤した |

設問 20 (設問19で①②③と答えた方にお聞きします) 在宅勤務(テレワーク)について困ったことや苦勞したことがありましたか、あてはまるものを全て選んでください

- ① PCや机、椅子など在宅勤務に必要な機材の調達、設置、設定等
- ② 通信回線の速度や安定性などの環境が不十分
- ③ 資料の印刷やコピー、スキャンができない
- ④ システムに不慣れで手間取る
- ⑤ 職場内の連絡や会議などが難しい
- ⑥ 取引先など外部との連絡や会議などが難しい
- ⑦ 紙で保管の資料や参考書籍が手元にない
- ⑧ 仕事に集中できない、はかどらない
- ⑨ 同居家族の相手や世話、家事の分担などで仕事が中断される
- ⑩ 仕事と私生活の区別がつけにくい
- ⑪ 働き過ぎてしまう
- ⑫ サービス残業が発生してしまう
- ⑬ 運動不足になってしまう
- ⑭ 孤独感を感じる
- ⑮ どのように評価されるか不安
- ⑯ 困ることや苦勞したことは特でない
- ⑰ その他 (内容を記入して下さい)

設問 2 1 あなたは以下の点について、在宅勤務(テレワーク)でどのように変化したと感じていますか、それぞれあてはまるものを選んでください

- ①増えた・上がった
- ②変わらない
- ③減った・下がった

- (a)業務の効率
- (b)仕事への意欲や集中力
- (c)業務量
- (d)労働時間
- (e)職場内のコミュニケーション
- (f)身体的な負担
- (g)精神的な負担
- (h)ワーク・ライフ・バランスに対する充実感

設問 2 2 (全員にお聞きします) あなたは今後、平常時でも在宅勤務(テレワーク)を希望しますか

- ①希望する
 - ②希望しない
- (①希望すると答えた方にお聞きします)

在宅勤務(テレワーク)を希望する場合、どの程度の頻度を希望しますか

- ①毎日
- ②週に3~4日
- ③週に1~2日
- ④日数にこだわらず、必要なとき

設問 2 3 (全員にお聞きします) あなたの仕事は在宅勤務(テレワーク)で対応できますか

- ①すべて、または大部分は在宅勤務(テレワーク)で対応できる
- ②在宅勤務(テレワーク)で対応できる部分の方が多い
- ③在宅勤務(テレワーク)で対応できる部分は半分程度
- ④在宅勤務(テレワーク)で対応できる部分の方が少ない
- ⑤すべて、または大部分は在宅勤務(テレワーク)では対応できない
- ⑥わからない

設問 2 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、在宅勤務(テレワーク)以外であなたが実施した対応策はありますか、あてはまるものを全て選んでください

- ①フレックス勤務
- ②時差出勤・シフト勤務
- ③勤務時間の短縮(時短勤務)
- ④出張の見送り
- ⑤Web・テレビ会議の利用
- ⑥通勤手段の変更
- ⑦臨時休業、作業所閉所
- ⑧年次有給休暇の一斉(計画)取得
- ⑨特別休暇の取得
- ⑩出勤扱いでの自宅待機
- ⑪あてはまるものは特にない
- ⑫その他(内容を記入して下さい)

設問 2 5 あなたはご自身の健康に対して不安を感じていますか

- ①不安がある(身体的に)
- ②不安がある(精神的に)
- ③不安がある(身体的、精神的ともに)
- ④不安はない

設問 2 6 (設問25で①②③と答えた方にお聞きします) 健康に不安を感じる理由は何ですか、3つ以内で選んでください

- ①長時間労働のため
- ②職場・作業環境が悪いため
- ③勤務形態が変則的だから
- ④職業病をわずらう可能性のある業務についている
- ⑤責任の増大、成果主義の導入によるストレス
- ⑥職場の人間関係によるストレス
- ⑦受動喫煙の問題
- ⑧生活習慣病への不安
- ⑨その他(内容を記入して下さい)

設問 27 あなたの今の仕事・生活は、充実していますか

(a) 仕事 (b) 生活

- ①非常に充実している
- ②まあ充実している
- ③あまり充実していない
- ④まったく充実していない

設問 28 (a)あなたは現在の建設産業に魅力を感じていますか

- ①大いに魅力を感じる
- ②まあ魅力を感じる
- ③あまり魅力を感じない
- ④まったく魅力を感じない

(b)魅力の感じ方は以前と変わりましたか、また変わった方はどうして変わったのか
記入してください

- ①変わっていない
- ②「魅力を感じる」から「魅力を感じない」に変わった
- ③「魅力を感じない」から「魅力を感じる」に変わった
変わった理由を記入してください

設問 29 (全員にお聞きします) あなたは建設産業のどのような点に魅力を感じますか、

特に感じる理由と、その他2つ感じる理由を選んでください

(特にないを選択された方はその他2つ選択はいりません)

- ①個人に任せられる仕事の幅が広い
- ②産業に将来性がある
- ③活力のある産業である
- ④全般的に労働条件が良い
- ⑤仕事に安定性がある
- ⑥創造する喜びがある
- ⑦産業の社会的役割に誇りを感じる
- ⑧建設したものが後世に残る
- ⑨多くの人と共同して仕事をする喜びがある
- ⑩自分の能力が活かせる
- ⑪特にない
- ⑫その他(内容を記入してください)

設問 30 (全員にお聞きします) あなたが建設産業で魅力を感じない理由は何ですか、

特に感じない理由と、その他2つ感じない理由を選んでください

(特にないを選択された方はその他2つ選択はいりません)

- ①前近代的な体質が残っている
- ②賃金水準が低い
- ③人事諸制度(人事考課、職制・職格制度等)が不十分
- ④労働時間(所定内・外)が長い
- ⑤福利厚生面での待遇が悪い
- ⑥受注時の不透明さ等、建設業における商慣習が不明瞭
- ⑦建設業の請負体質(対発注者)
- ⑧「横並び」「横睨み」意識が強すぎ、企業の独自性が出しにくい
- ⑨男女不平等
- ⑩建設産業の社会に対する貢献度に対して、社会的な評価が低い
- ⑪業務上災害が多い等、危険が多い
- ⑫産業の将来像がない
- ⑬転勤・異動が多い
- ⑭特にない
- ⑮その他(内容を記入してください)
前近代的な体質の具体例を記入してください

設問 3 1 あなたは今の会社でいつまで働こうと考えていますか

- ①定年まで働きたい
- ②転職を考えたことがある
- ③今後、転職を考えている
- ④今すぐ転職したい

設問 3 2 (設問31で②③④と答えた方にお聞きします) あなたが転職したい(会社を辞めたい)と思った理由は何ですか、特に転職したい理由と、その他2つ以内で選んでください

- ①賃金水準が低い
- ②労働時間が長く休日も取れない
- ③仕事にやりがいを感じない、他にやりたい仕事が見つかった
- ④会社や業界の将来に不安を感じる
- ⑤自分にその仕事の適性がない
- ⑥職場の人間関係に不満がある
- ⑦能力向上やキャリア形成が望めない(キャリアアップしたい)
- ⑧会社からの評価に不満がある
- ⑨会社の考え、風土が合わない
- ⑩転勤が多い
- ⑪自分の健康不安や家族の都合
- ⑫その他 (内容を記入して下さい)

設問 3 3 (設問31で②③④と答えた方にお聞きします) あなたは転職後の再就職はどう考えますか

- ①建設産業に就職する
- ②他産業へ就職する
- ③国や地方自治体に就職する
- ④会社を起業する、または親の家業を継ぐ
- ⑤その他 (内容を記入してください)

設問 3 4 時短や職場環境、なんでも結構です、今感じていることをご記入ください

※この設問より下は、現在作業所勤務の方がお答えください

尚、現在異動中の方は直近の作業所についてお答えください

(複数の作業所勤務の方は、主な勤務先の状況についてお答えください)

設問 3 5 作業所の形態を選んでください

- ①単独
- ②JVの幹事会社(スポンサー)
- ③JVの構成会社(サブ)
- ④下請け
- ⑤その他

設問 3 6 作業所の配員(派遣を含む)は何人ですか (JV作業の場合は全員)

(対象者がいない場合は0を記入して下さい)

- (a)技術系職員
- (b)事務系職員

設問 3 7 作業所の工期をお答えください

- (a)着工年月
- (b)竣工年月

設問 3 8 発注者を選んでください

- ①国土交通省（旧建設省系）
- ②国土交通省（旧運輸省系）
- ③農林水産省
- ④①②③以外の中央官庁
- ⑤JRTT ※JRTTとは：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(略称:鉄道・運輸機構)
- ⑥⑤以外の独立行政法人
- ⑦都道府県
- ⑧政令指定都市
- ⑨その他地方公共団体
- ⑩民間公益企業（道路）
- ⑪民間公益企業（鉄道）
- ⑫民間公益企業（電力、ガス、通信等）
- ⑬民間マンション関連のディベロッパー
- ⑭その他民間企業
- ⑮個人

設問 3 9 作業所工事分類を選んでください

- ①建築工事
- ②土木工事
- ③建築（鉄道線閉）工事
- ④土木（鉄道線閉）工事
- ⑤建築リニューアル工事
- ⑥土木リニューアル工事
- ⑦その他

設問 4 0 あなたの作業所の休日設定を選んでください

(a)受注時 (b)現在の工程表上

- ①4週8閉所（完全週休2日制）
- ②4週7閉所
- ③4週6閉所
- ④4週5閉所
- ⑤4週4閉所
- ⑥4週3閉所
- ⑦4週2閉所
- ⑧4週1閉所
- ⑨4週0閉所
- ⑩その他

設問 4 1 あなたの勤務する作業所の完全閉所状況

（完全閉所・・・宿・日直以外の職員が出勤した場合は閉所とみなさない）

a～tの各休日における完全閉所状況について

- ①閉所した
 - ②閉所していない
- でお答えください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 11月 (a)11月 1日 (第1日曜日) | (b)11月 3日 (文化の日) |
| (c)11月 7日 (第1土曜日) | (d)11月 8日 (第2日曜日) |
| (e)11月14日 (第2土曜日) | (f)11月15日 (第3日曜日) |
| (g)11月21日 (第3土曜日) | (h)11月22日 (第4日曜日) |
| (i)11月23日 (勤労感謝の日) | (j)11月28日 (第4土曜日) |
| (k)11月29日 (第5日曜日) | |
- 11月の平日に閉所した日数 (日)

設問 4 2 あなたはどうすれば土曜閉所を増やせると思いますか、3つ以内で選んでください

- ①土曜閉所ができるような人員配置
- ②法的・社会的な土曜日の工事規制
- ③発注者の理解
- ④計画表の作成や工程管理による計画的な実施
- ⑤会社からの指導、上司の意識改革
- ⑥自己の意識改革
- ⑦工程の余裕
- ⑧労使委員会等による労使の協力体制の確立
- ⑨業務の効率化
- ⑩技能労働者の月給制確立
- ⑪協力業者との打合せ協力
- ⑫その他（内容を記入してください）

設問 4 3 土曜閉所を増やしていく上で問題となるのは何ですか、特に問題となるものを1つと、その他2つ以内で選んでください

- ①短工期発注による工程の厳しさ
- ②発注者の対応が遅いことによる工程上の遅れ
- ③突発事態（天候等）で工程調整ができなくなる
- ④工程上は問題ないが、土曜作業を行って工程上の余裕を作りたいこと
- ⑤土曜閉所する事による経費の増大
- ⑥予定外・緊急の作業の発生
- ⑦発注者・ユーザーへの対応
- ⑧上司・職員の閉所に対する意識の低さ
- ⑨技能労働者が休みたがらないこと（作業員日給制の問題を含む）
- ⑩土曜日でないと技能労働者が集まらないこと
- ⑪発注者・元発注者の理解
- ⑫気象上の制約（冬季降雪対応等）
- ⑬施工上の制約（施設休業日にしか作業できない等）
- ⑭許認可上、土・日（夜間）作業になること
- ⑮交替で職員は休んでいるので土曜閉所するのを感じない
- ⑯その他（内容を記入してください）

設問 4 4 （2019年12月～2020年11月までに作業所間異動があった方にお聞きします）
2019年12月～2020年11月の作業所の異動時に土日祝日を含まず何日休みましたか
（振替休日、代休、有給休暇、特別休暇いずれでもよい）
取得日数(0日の場合は0)を記入してください

設問 4 5 （全員にお聞きします）異動時休暇が取得しにくい理由は何ですか、2つ以内で選んでください

- ①異動日の直前の異動命令
- ②引継ぎ資料の整理や後片付けに時間がかかるから
- ③次の現場に監理技術者で名前を登録されるから
- ④交代する人との赴任間隔が長くなるから
- ⑤みんなに迷惑がかかると思う
- ⑥職場の雰囲気取得しづらい
- ⑦上司がいい顔をしない
- ⑧異動時休暇制度がない
- ⑨異動時休暇があるの知らない
- ⑩異動時休暇を取得するのを感じない
- ⑪異動時休暇は取得しやすい
- ⑫その他（内容を記入してください）